

平成 27 年 4 月

指導薬剤師各位

昭和大学薬学部実務実習委員会  
委員長 加藤 裕久

## 昭和大学薬学部 第 30 回薬-学連携プログラム開催のお知らせ

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。薬学部学生の実務実習につきまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第 30 回薬-学連携プログラムでは「地域医療に積極的に参画する学生を育てるために～実習スケジュールの作り方・進め方のポイント」とのテーマで行います。本学では実習前にスケジュールをご提出いただいておりますが、スケジュールの作成に苦勞されている多くの声を耳に致します。また、実習スケジュールの組み立て次第で、実習の内容が大きく変わってくるとも言われております。今回は、6 年制の実務実習開始時から関わり、実際に地域医療に積極的に参画する学生を育てる実習を実践されている、お二人の指導薬剤師に講演いただきます。スケジュールの組み立て方、学生の成長に合わせたスケジュールの進め方など、大事なポイントについて具体的な例を用いてお話いただきます。是非お気軽にご参加下さい。敬白

### 記

日 時： 平成 27 年 4 月 16 日（木） 19 時 30 分～21 時 00 分

場 所： 昭和大学旗の台キャンパス 4 号館 5 階 500 号室

参加費： 無料

テーマ： 「地域医療に積極的に参画する学生を育てるために」  
～実習スケジュールの作り方・進め方のポイント～

学生に薬局薬剤師としてのやりがいを感じさせるスケジュールの作り方・進め方  
～ 日本薬剤師会から提案されたスケジュールを基盤として ～  
クオール株式会社 クオールアカデミー 長沼 未加 先生

地域の職種連携（在宅チーム）で学生を育てる、薬局実習の進め方  
～カリキュラムの内容を実地で丁寧に共有する～  
株式会社ジェンダーメディカルリサーチ 宮原富士子 先生

\* 学生の指導に興味のある先生は、どなたでもご参加ください。

\* 参加をご希望される先生は 4 月 13 日（月）までにご所属、お名前、連絡先をご記入の上、下記までメールまたは FAX にて連絡ください。当日の参加も可能です。

\* メール の 件 名 は 「第 30 回薬-学連携プログラム参加希望」としてください。

\* 日本薬剤師研修センター認定 1 単位

\* 主催：文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム「昭和大学在宅チーム医療教育推進プロジェクト」

※連絡先 〒142-8555

東京都品川区旗の台 1-5-8

昭和大学薬学部 実務実習委員会

薬局実務担当 赤川圭子、山本仁美

TEL 03-3784-8016(赤川)、8834(山本)

PHS 070-6664-7615 FAX 03-3784-8834

E-mail : [zitsumu@pharm.showa-u.ac.jp](mailto:zitsumu@pharm.showa-u.ac.jp)